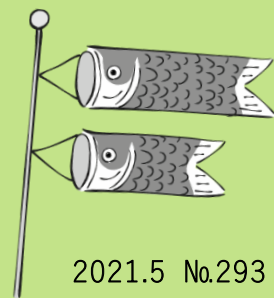




# 図書館だより 5月号



2021.5 No.293

岡垣サンリーアイ図書館発行

## オススメの新作図書

【一般向け】

### 『その扉をたたく音』

瀬尾 まいこ / 著 集英社



ミュージシャンへの夢を捨てきれない宮路は、老人ホームで、神がかったサックスの音を耳にする。吹いていたのは介護士の渡部で…。

【一般向け】

### 『自然界における左と右 上・下』

マーティン・ガードナー / 著 筑摩書房



鏡像、回文、利き手、洗面器の底にできる水の渦、つるの巻き方、原子構造、反粒子など、広範囲にわたって繰り広げられる、左右の話。

【児童向け】

### 『なすびは何色？』

山本 泉 / 著 山田 真奈未 / 絵 BL出版



学校の帰り道、岸田さんに「なすびは何色？」と聞かれた。京都から転校してきて、隣の席になった彼女のことが苦手だったのだけど…。

【児童・YA向け】

### 『「ちがい」ってなんだ？』

井筒 節・飯山 智史 他 / 監修 学研プラス



「障害」をテーマに、「ちがい」について考える本。様々なちがいや障害、サポートの基本などについて、マンガやイラストを交えて解説。

## 読書会通信

【3月の読書会より】 『生きるということ』 なかにし 礼 / 著 毎日新聞出版

戦後平和を取り戻した日本の音楽界で数々のラブソングをヒットさせ、一世を風靡した作詞家のなかにし礼さん。しかし彼は幼い頃戦争という過酷な体験をしています。又癌を患い命の危機に直面しますが、その時の医者と御家族の会話には本当に感動させられます。絶望の淵に立たされても生きる道を探す、人は平和に生きる権利があり、戦争への道は断ち切ろうと訴え続けた彼の生きざまは本当に素晴らしい。

〔大野 定子〕

